

○一学期をふりかえって、今学期が今までで一番成長できた学期だと思っています。その理由はコロナによる影響で、学校生活そのものが失われ、あたりまえが、あたりまえじゃない生活の中で、クラスや学年で協力できた点が、多く見られたからです。

③初日に顔合わせしたただけだったので、正直、新クラスの実感はありません。スタートはみんなの気持ちが高かった。その状態を、なんとか一つにして、クラスとしての意識を高めるために、“ビッグアート”という形で新しい学級旗を作ることになりました。思っていたより、大変な作業で、なかなか終わらずに、困っている人がいれば、誰かが助けてあげたり、「しんどい」と言っている人がいれば「頑張ろう」と励ましながら、クラスで協力した結果、立派な学級旗が完成すると同時に、クラスの絆を深めることが出来ました。

③また、部活動も、6月からの再開によって今までずっと一緒にいた三年生と、過ごす時間が短くなってしまいました。先輩の最後の姿は、堂々としていて、とてもかっこよく、僕もこんなふうにかっこいいと思われるような先輩になりたいと思いました。三年生が引退した今、僕はキャプテンになりました。次は僕たちが中心となり、先輩のように、しっかり部員を引っ張っていきたいです。

③一学期を過ごして、学年の良い点がたくさんあることに気付きました。改善点も見えてきました。それは、メリハリのある行動ができず、二年生としての自覚が持ていない人が多くいるところです。生活面でも、学習面でも、一年生の見本となり、常に、こういう人になりたいと思ってもらえるような学年を目指していききたいです。僕たちの学年目標は、“ジャンプアップ”です。“ジャンプアップ”とは、今までよりも大きく、自分たちで成長しよう。という意味だと、僕は思います。中学校生活の後半、明日からの二学期に、僕たちが変わることが出来れば、“ジャンプアップ”につながると思います。一人ひとりが意識を高く持ち、目標に向けて、みんな頑張りましょう。

令和二年

8月31日

二年生代表

屋敷

空